

デザイン学研究科 2020年度 造形デザイン学特別研究 ルーブリック

学籍番号: _____
 学生氏名: _____
 教員氏名: _____

	S(秀)63~70点	A(優)56~62点	B(良)49~55点	C(可)42~48点	D(不可)~41点	配分	採点
■修士論文および 修士作品	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや劣る	<input type="checkbox"/> 劣る	70	<input type="text"/>
■研究態度	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや劣る	<input type="checkbox"/> 劣る	20	<input type="text"/>
■プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや劣る	<input type="checkbox"/> 劣る	10	<input type="text"/>
						合計	100 <input type="text" value="0"/>

成績評価方法と基準(シラバス) ※シラバスの到達目標を考慮した上で採点する。

到達目標	修士論文および修士作品	研究態度	プレゼンテーション
研究するテーマが独創性を持ち、現代および今後の社会にとって有用なる要素を含んでいるかについて、客観的批判的思考を獲得することができる。	○	○	
自らの研究テーマ及び課題の検討を広く深く行い、解決策へ導くために必要な理論の構築と、その根拠となる調査研究の手法や制作手法を確立できる創造力を身につけることができる。	○	○	
有意義な成果が得られるよう、周到な計画性や展開力・実行力を確実に獲得することができる。		○	○
自らの研究過程や成果をより効果的なものにするために、説得力あるコミュニケーション能力をスキルアップすることができる。		○	○
評価割合(%)	70	20	10